

別海町立西春別小学校 学校だより



からまつ No.17

平成30年1月31日発行 発行責任者 校長 金森 卓哉

3学期のスタートにあたり

校長 金森 卓哉

3学期の始業式の朝、児童玄関では子どもたちと先生方で新学期の最初の挨拶が交わされていました。楽しそうな会話も聞こえてきます。明るくなごやかなスタートが玄関から始まっていた。私も、教室をまわり新学期最初の挨拶を子どもたちと交わします。子どもたちからも「おはようございます。」という言葉、それと、ニコニコの笑顔、そして、お辞儀の3つを返してもらいます。こちらの指導がなくても、この3つを返してもらうと、こちらまで心が少しわくわくしだし、これから何かいいことでも起こりそうな気持ちとなり、次の教室ではよりはすんだ気持ちで挨拶となります。

廊下でも気持ちが弾んで「おはようございます。」と挨拶を交わしますと、高学年の子どもから「おはようございます。今年もよろしく願いいたします。」と丁寧な挨拶が返ってきたのです。「この子は、家でこのように教えられているのだ。」素晴らしいなと感じました。そして、恥ずかしながら、自分ももう1度挨拶のやり直しをしました。子どもたちも先生方もみんな気持ちの良いスタートとなりました。

3学期は、昨年4月に先生と子どもたちで元気に出港した船が次の学年の港に接岸する学期です。この1年の間には学習を積み重ねながらも学級での様々な出来事をみんなで乗り越えてきたのです。この間には、保護者の皆様にもたくさんのご協力をいただき、もう少しで次の学年の港に着くところまで来ています。

3月末の卒業式、修了式では、「6年生は、6年間の学習を修め、立派に卒業です。中学校でも活躍を期待しています。1年生から5年生までは1年間お勉強を一生懸命頑張りました。この学年を立派に修了できました。4月からもしっかり頑張ってください。」と担任の先生方からお話していただけるように、3学期のお勉強やお仕事を担任の先生や担当の先生と一緒にしていきましょう。始業式ではそのようなお話をしたつもりです。

3学期になりまとまった雪が降った時でした。校門前の横断歩道の傍の歩道除雪をしてくださっている方がおられます。児童が安全に登下校できております。また、重機で学校の敷地やスケートリンクの除雪にきてくださった方がおられました。多く方々に学校を支えていただいております。ありがとうございます。



★日課表の見直しについて★

AI（人工知能）の導入をはじめとして、今の子ども達が社会人になったときは、現在とは大きく社会の様子が変わっていくと予想されます。そのような中でも生きる力を身につけさせるために、学習内容が大きく変わります。昨年3月に文部科学省からその具体的な内容が通知されました。

小学校は平成32年度から完全実施となりますので、平成30年度・31年度は移行期間として一部教育課程の変更がはじまります。現在5・6年生の「外国語活動」が3年生からとなり、5・6年生は「外国語」として教科化されます。それにともない、週当たりの授業時数が3年生以上は1時間増加することになります。

本校では、臨時休校への備えとして、すでに週当たり1時間授業は多く実施しておりますが、更に1時間の増加となるため、平成30年度から日課表の変更を検討しております。具体的には、現在5時間授業となっている水曜日を、下校時間を変えずに6時間授業にしていこうと考えております。そこで、2月中に何度か検討している日課表を試行し、改善点などを職員で検討したうえで実施していきます。後日改めてお便りを配布いたしますが、趣旨をご理解の上ご協力の程、よろしくお願いいたします。